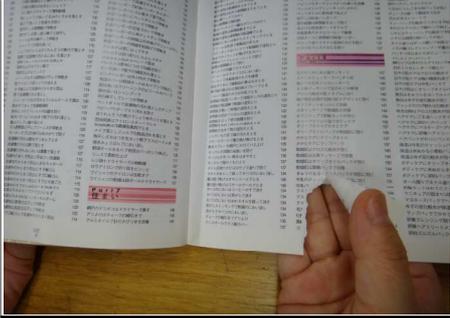


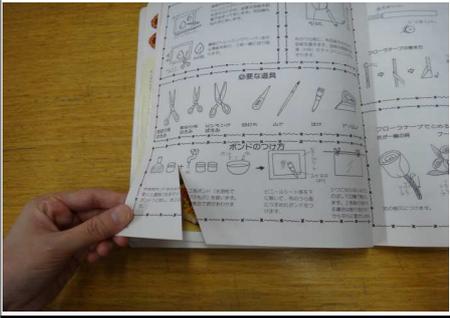
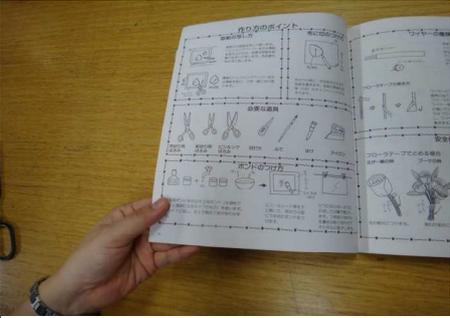
② ページ破れの補修

(やってみよう！本の修理)

	修理手順	注意点
	<p>(のりしろが有る場合)</p> <p>① 破れた部分を和のりを使って補修します。</p>	<p>「のど」付近以外の破れに有効です。</p> <p>和のり（でんぷんのり）以外ののりは変色や変形等の原因になるのでここでは使用しません。</p>
	<p>② 紙が薄いときは少し水で薄めたのりを使います。</p> <p>破れたページの下にクッキングシートを敷き、破れた部分にのりをつけます。（後ろのページへのりがつくのを防ぐため）</p>	<p>週刊誌や写真集など光沢のあるコート紙の場合は、表面を溶かしてしまうので水を使用した補修には向きません。</p> <p>クッキングシートの代わりに本のコーティング用紙の裏紙（※光沢部分）も使用できます。</p>
	<p>③ のりをつけた後は、きれいなガーゼなどでおさえて、のりづきを良くします。</p>	<p>のりのはみ出したときは、軽くふき取っておきます。</p>
	<p>④ ページの両面に新しいクッキングシートを挟んだまま、平らな板と重石を使って固定し、乾燥させます。</p> <p>状況にもよりますが、最低でも一日以上おいて、よく乾燥させます。</p>	<p>多少のりのはみ出しているても、シートを挟むことで他のページへのくっつきを防ぐことができます。</p>
	<p>⑤ 乾いたら中身を確認して完成</p>	<p>ずれていた場合は、のりの部分に水をぬると外れるので、最初からやり直します。</p> <p>（ボンドなどを使った場合は、やり直しが困難です）</p>

② ページ破れの補修

(やってみよう！本の修理)

	修理手順	注意点
	<p>(のりしろが無い場合)</p> <p>① カッターなどで切れている場合やページが大きく破れているときはページヘルパー（テープ）を使用します。</p>	<p>のどの部分からはがれている場合は→「ページ外れの補修」を参考にしてください。</p> <p>セロハンテープは変色等の原因になるので使用しません。</p>
	<p>② テープをゆっくり貼ります。</p> <p>ページの破れが大きいときは何枚かに分けてテープを貼ります。</p>	<p>テープは、ずれると貼り直しが困難です。貼りにくいときはクリップなどで固定すると作業しやすくきれいに仕上がります。</p>
	<p>③ ページ端の補修は少し長めに貼り、はみ出した部分を切り取ります。</p>	<p>裏に折り込むと歪みや破れの原因になるので、裏側も固定したいときは折り込まずに別に貼ります。</p>
	<p>④ 完成</p>	